



大馬越ん子

平成22年
10月18日
第7号

キャッチフレーズ 汗と読書とあいさつで心の光る学校

学校HP <http://www.edu.satsumasendai.jp/omagoe-e/>

今年もお待ちしています

～地域が育む「かごしまの教育」県民週間～

鹿児島県は、毎年11月1～7日の期間を『県民週間』として、地域の方々に学校へお越しただき、授業をご覧いただいたり、子どもたちとのふれあい活動を行ったりして、学校に対する理解を深めていただき、学校と家庭・地域の連携を図ることを目指しています。

本校でも保護者の方々や大馬越校区の皆様方のご支援により、毎年多くの方々に学校にお越しただき、県民週間ならではの行事を実施しています。今年も別紙の『県民週間ポスター』どおり、様々な取組で保護者や地域の方々にご案内いたします。

ご近所お誘い合わせの上、多くの皆様方のご来校を心よりお待ちしております。

なお、今年度は11月中旬まで体育館が耐震工事のために使用できませんので、**学習発表会は11月25日(木)**に計画しています。これまでの学習の成果を発表しよう子どもたちは張り切っています。また、その日は今年も高齢者一日学級を計画しています。おじいちゃん・おばあちゃんたちとのふれあいを子どもたちは楽しみにしていますので、多くの皆様方にお越しただきたいと思います。県民週間、学習発表会は大馬越小で楽しいひとときをお過ごしください。

楽しかった大馬越小・校区合同秋季大運動会

絶好の運動会日和に恵まれ、小学校と校区が一体となった秋季大運動会が盛大に開催されました。毎年多くの校区民が参加し、運動をとおして親睦と融和を図る一大行事となっています。年々児童数が減少する中ではありますが、種目を工夫したり、係を分担したりして6年生を中心に練習を重ね、例年以上に児童一人一人が光り輝く運動会になりました。校区においても、自治会長さんや体育部長さん方を中心に、選手選考や競技役員選出、準備から片付けに至るまで本当にご苦労さまでした。学校では、今年を振り返り来年に向けて反省を行っております。地域におかれましてもお気づきの点がありましたら、お聞かせ下さい。



市陸上記録会出場

14日(木)、市小学校陸上記録会が行われました。本校からも5・6年生6名が、100m走、走り幅跳び、800m走、60mハードル、400mリレーに出場しました。限られた期間の中で、朝のかけ足や体育の授業、放課後の練習などに進んで取り組み、自己記録の更新を目指し、全員が精一杯の頑張りを見せてくれました。緊張しながらも、大勢の観客の中で堂々とした走りを見せてくれた6人を本当に頼もしく思いました。



日(月)	行事予定
29日(金)	子ども貯金日
27日(水)	集合学習・薩摩川内元気塾(朝陽小)
26日(火)	ALTとの交流
25日(月)	朝陽小との合同研修
1日(日)	地域の育むかごしまの教育(県民週間7日迄)
5日(金)	脱穀
6日(土)	わくわく馬越ん子塾(グラウンドゴルフ大会)
8日(月)	教育相談週間
12日(金)	第六回PTA理事会
13日(土)	クラブ
16日(火)	市P連母親部研修会
17日(水)	なかよし音楽会
21日(日)	ALTとの交流
25日(木)	就学時健診
26日(金)	ドッジボール大会
29日(金)	学習発表会
29日(金)	高齢者一日学級
29日(金)	ふれあい給食
29日(金)	避難訓練
29日(金)	芸術演劇鑑賞事業

十月の主な行事予定
食育の日 GTとの交流
稲刈り
親子ふれ合い活動
PTA懇親会
朝陽小との合同研修
ALTとの交流
集合学習・薩摩川内元気塾(朝陽小)
子ども貯金日
十一月の主な行事予定
地域の育むかごしまの教育(県民週間7日迄)

大馬越小の教育

～小6・中1交流学習～

薩摩川内市が進めています小中一貫教育の一環として、先日入来地域小学校4校の6年生と入来中1年生の交流学習が入来中学校で行われました。二日間の日程で、コミュニケーション科や部活動体験で中1の先輩と交流を深めたり、小学校や中学校の教師による教科学習で、他校の6年生と一緒に大人数での授業を経験したりしました。

本校の6年生4人にとってたくさんの友達と授業を受けることは大変新鮮で、最初は緊張気味でしたが、次第に自分の意見を堂々と発表する姿も見られました。不安が少なくなり、中学校進学への希望が大きく膨らんだようです。また、すっかり中学生らしくなった先輩の姿に驚いたという感想も見られました。

まさに小中一貫教育のねらいを十分達成できた二日間でした。



校内読書旬間をきっかけに

10月6日から16日まで読書旬間を設定し、学校職員による読み聞かせや好きな本を友達に紹介する読書郵便など様々な取組を行いました。年度当初に学年ごとに目標冊数を決め、ほとんどの子どもがたくさんの本を読んでいます。学校では、この旬間をきっかけにすべての子どもが読書の楽しさを味わえるように引き続き取り組んでいきたいと思っています。ご家庭でも、ぜひ親子で読書に親しむ時間を作るなどの取組を継続して欲しいものです。

